

令和5年度

第69回北海道高等学校剣道選手権大会

開催要項

兼第70回全国高等学校剣道大会北海道予選会

主 催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会

後 援 釧路市・釧路市教育委員会・釧路市スポーツ協会
一般財団法人北海道剣道連盟・全釧路剣道連盟・北海道学校剣道連盟
全釧路学校剣道連盟

主 管 北海道高等学校体育連盟剣道専門部・北海道高等学校体育連盟釧路支部

当番校 北海道釧路湖陵高等学校
〒085-0814 釧路市緑ヶ岡3丁目1番31号
電 話 (0154) 43-3131 F A X (0154) 43-3134

- 1 期 日 令和5年6月13日(火)・14日(水)・15日(木)・16日(金)
- 6月13日(火) 12:30 監督会議 (多目的室)
13:15 審判会議・審判研修 (多目的室・サブアリーナ)
15:00 開会式 (メインアリーナ)
15:45 審判実技研修会 (メインアリーナ)
- 6月14日(水) 9:00 審判打合せ会議 (会議室)
9:30 開始式・競技開始 (メインアリーナ)
【個人戦女トーナメント3回戦まで】
【団体戦予選リーグ女・男】
16:30 審判打合せ会議 (会議室)
- 6月15日(木) 9:00 審判打合せ会議 (会議室)
9:30 開始式・競技開始 (メインアリーナ)
【個人戦男トーナメント3回戦まで】
【団体戦予選リーグ女・男】
16:30 審判打合せ会議 (会議室)
- 6月16日(金) 9:00 審判打合せ会議 (会議室)
9:30 開始式・競技開始 (メインアリーナ)
【個人戦男女決勝戦まで】
【団体戦決勝リーグ出場戦】
【団体戦決勝リーグ】
15:00 (予定) 閉会式 (メインアリーナ)

- 2 会 場 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (湿原の風アリーナ)
〒085-0064 釧路市広里18
電 話 (0154) 38-9800

- (1) 監督会議 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (多目的室)
(2) 審判会議 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (多目的室)
(3) 審判研修 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (サブアリーナ)
(4) 競技会場 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (メインアリーナ)

3 競技規則

(公財)全日本剣道連盟の「剣道試合及び審判規則」並びに北海道高体連剣道専門部申し合せ事項による。また、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法を適用する。

4 参加資格

(1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加の資格を得た者。

【注】全道大会参加の基準

各支部の全道大会出場校及び個人出場選手は次の通りとする。

ア 団体戦 (男子・女子) 支部大会参加校

高体連新基準に基づき令和5年度は次のとおりとする。

支部名	函館	室蘭	小樽	札幌	空知	旭川	名寄	十勝	オホーツク	釧路	合計
男子出場枠	2	2	1	8	1	3	1	2	2	2	24
女子出場枠	2	2	1	8	1	3	1	2	2	2	24

※この他に、開催支部の学校から男・女各1チームずつ出場することができる(当番校を優先する)。マネージャーの参加を認める。

イ 個人戦 (男子・女子) 支部大会参加者

高体連新基準に基づき令和5年度は次のとおりとする。

支部名	函館	室蘭	小樽	札幌	空知	旭川	名寄	十勝	オホーツク	釧路	合計
男子出場枠	7	6	3	15	4	6	3	4	6	6	60
女子出場枠	6	5	3	15	4	6	3	4	4	5	55

(2) 年齢は平成17年4月2日以降に生まれた者。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(3) チームの編成において全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。

(4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。

ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りでない。なお、6ヶ月未満の起算は全道大会開催期日とする。

(5) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。

(6) 参加資格の特例

ア 上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(5)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規程に従い大会参加を認める。

イ (2)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

【注】別途規定

I 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。

II 以下の条件を具備すること。

1 大会参加資格を認める条件

ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められる。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

- 2 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を尊重し、競技種目開催要項及び申し合せ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会参加料は、エントリー選手1名1,500円とする。
- (7) 外国人留学生の出場枠
 - ア 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
 - イ 在籍校が、各都道府県高体連剣道部に加盟していること。
 - ウ 年齢は4月2日を起算とし、19歳未満の者とする。
 - エ 短期留学は除く。
 - オ 出場人数：上記アからエの条件を全て満たしている者に限り次の通り大会参加を認める。
団体戦…補欠を含めた7名中2名以内の参加を認める。
個人戦…参加制限をしない。
- (8) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入した者、又は加入の意志のある者。
- (9) 参加選手は必ずマウスシールド（マウスガード）を着用すること。面マスクの着用は、個人の判断とする。（練習会場においても同様）

5 引率責任者及び監督

- (1) 引率責任者は当該校の教員で、監督は校長の認めた教職員とする。ただし監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。（申出は、込期限の1週間前までに専門委員長にすること）なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
- (2) 監督は、団体・個人を兼ねることができる。
- (3) 監督の服装は、背広（スーツ）・ネクタイ、または剣道着・袴とする。

6 チームの編成

団体戦のチームの人数は次のとおりとする。

- | | | | | | |
|------------|------|------|------|----------|-----|
| (1) 男子団体試合 | 監督1名 | 選手5名 | 補欠2名 | マネージャー1名 | 計9名 |
| (2) 女子団体試合 | 監督1名 | 選手5名 | 補欠2名 | マネージャー1名 | 計9名 |

なお、4人及び3人チームでの出場を認める。

運用については、以下のとおりとする。

- ア 4人チームは「次鋒・中堅・副将・大将」、3人チームは「中堅・副将・大将」に選手を登録する。
- イ 大会当日や大会中にやむを得ない理由で選手が5人及び4人揃わない場合は、4人ないし3人チームによる試合に限って認める。その際は、試合前に審判主任へ申し出て、4人及び3人チームのオーダーに変更する。
- ウ 5人及び4人のチームが4人及び3人のチームと対戦する場合は、登録選手の中で不戦勝ちの選手を試合前に決定できる。ただし、人数の多いチームは、オーダー順を変更してはならない。
- エ 不戦勝ちの選手は不戦勝ちの宣告を受ける。

7 競技方法

- (1) 団体戦は、男女ともに5ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック第1位・第2位校により決勝リーグ進出戦を行う。決勝リーグ進出戦により選出した4校により決勝リーグを行い、順位を決定する。
予選リーグにおいて勝ち数・取得本数がともに同数の場合は勝ち点を優先する。予選リーグの順位は①勝ち点（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）、②勝者数、③取得本数の順に多

い順でつける。

予選リーグで上記①～③が全て同数だった場合、代表者戦を行う。代表者戦は一本勝負とするが、3校以上が同数の場合は三本勝負とする。

決勝リーグ進出戦において②③が同数の場合は、その都度一本勝負の代表戦を行う。

決勝リーグにおいては、予選リーグと同様、勝ち点方式をとる。（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）リーグ戦終了時に勝ち点が同点の場合は、勝者数、取得本数の順に勝敗を決めるが、全てが同数の場合は代表者戦を実施し、順位を決める。3位校が2つ出た場合も補欠校を決めるため代表者戦を実施する。

代表者戦は2校で実施の際は4分1本勝負、3校あるいは4校で実施の際は4分3本勝負で行い、それぞれ時間内に勝敗が決しない場合は、決するまで延長戦を行う。

代表者は当該試合に出場した5名の中から選出することとし、3校あるいは4校で実施の場合は試合ごとに選手を替えることができることとする。また、代表者戦が終わった結果再び、勝ち数と取得本数が同数の場合、再度代表者戦を行うが当該試合に出場していた5名の中であればその中から代表者を替えることができる。

代表者戦の審判員はリーグ戦の時と同じ構成とする。3校あるいは4校で実施の試合順はリーグ戦での対戦順とする。

(2) 個人戦は、男女ともトーナメント法により行う。なお補欠選手選考のため順位決定戦を行う。

(3) 試合時間は次のとおりとする。

ア 団体戦～男女とも4分、引き分け。代表者戦は4分1本勝負とし、延長は4分ごと区切って勝敗の決するまで行う。

イ 個人戦～男女とも4分とし、延長は4分ごと区切って勝敗の決するまで行う。

(4) その他詳細は、監督会議において通知する。

8 組合せ

(1) 団体戦は、支部別シード及び別に定める道高体連剣道専門部抽選会内規により行う。

(2) 個人戦は、学校別シードにより行う。

(3) 組合せ抽選会は、令和5年5月31日（水）13時30分より北海道札幌厚別高等学校で行う。

9 参加申込

(1) 申込方法 道高体連剣道専門部ホームページ

(URL:<http://www.kendo-hokkaido.hokkaido-c.ed.jp/>)から申込書式をダウンロードし、

① 必要事項を入力後印刷・押印し、下記事務局まで郵送にて提出のこと。

〒085-0814 釧路市緑ヶ岡3丁目1番31号

北海道釧路湖陵高等学校内 北海道高等学校剣道選手権大会事務局 宮澤謙輔 宛

② また、作成したファイルを道高体連剣道専門部にメールに添付して送信すること。

※送信先アドレス zendo.senmon@gmail.com

(2) 申込期日 令和5年5月26日（金）までに必着のこと。

(3) 参加上の注意

ア 申込み後のオーダーの変更は認めない。

イ 競技中の疾病、傷害等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証（写）を持参すること。

ウ 参加選手は中央の大垂れに白色で、上部に校名を横書きにし、下部に姓を縦書きに明記した黒又は紺の布製の名札を着用すること。

例 (名札)			
良い例	釧路湖陵 中	釧路工業 遠	悪い例
	川	藤	湖 陵 中 川
			釧 工 遠 藤

(字数が多いときは二段にする。)

- エ 剣道用具に関しては、「剣道用具確認証」を高体連剣道専門部のホームページからダウンロードし選手が各自で確認、署名して監督に提出すること。また、監督は確認証を選手分まとめて受付時に提出すること。
- オ 竹刀の計測は、令和5年6月13日（火）12：00～13：30まで、ウインドヒルくしろスーパーアリーナ（メインアリーナ）で行う。これ以降は本部にて随時行う。
※不適格な竹刀は大会本部で一時預かりとする。
- カ 紅白の目印（長さ70センチメートル、幅5センチメートル）をチーム人数分各校で用意すること。
- キ 選手の服装は、紺（黒）または白色の剣道着・袴とする。
- ク マネージャーが選手席に入る服装は、制服又は紺（黒）または白色の剣道着・袴とする。
- ケ 参加校の選手を病気・ケガ・転校等で変更する場合は別紙様式の変更願を専門部に監督会議前日までにメールで送信すること。また、校長印を押印した変更願は監督会議の前までに専門部に提出すること。
- コ 今年度から団体戦出場校はオーダー票、個人戦出場校は個人名票を用意すること。詳細は事務連絡で連絡する。

10 参加料

選 手（補欠を含む） 1名 1,500円

原則として次の口座へ振り込みで納入してください。

振込先	北洋銀行 釧路中央支店 (普) 4850844
口座名	当番校北海道釧路湖陵高等学校校長 埴 浩 伸 (ハナワ ヒロノブ)

11 宿 泊

(1) 申込方法

北海道高体連剣道専門部 HP の「宿泊・弁当のご案内」を確認し、
申込サイト (<https://amarys-jtb.jp/kendo2023/>) から申し込みください。

<申込先>

(株)JTB 北海道事業部 MICE センター

令和5年度第69回北海道高等学校剣道選手権大会」係

電話 (011) 221-4800

(2) 申込期日 令和5年5月31日（金）

(3) 宿泊地および料金（参考）

釧路駅前エリア	(1泊朝食付)	7,000円～11,500円
	(1泊2食付)	8,000円～12,000円

12 表彰等

(1) 表 彰

ア 団体戦	男女	各3位まで	(3位2校)
イ 個人戦	男女	各3位まで	(3位2名)
ウ 優秀選手	男女個人	各7名	(予定)
エ 敢闘賞	団体男女	各若干校	

(2) 全国大会出場資格

ア 団体戦は男女共各2チームとする。

イ 個人戦は男女共各4名とする。

1.3 諸会議等

北海道高体連剣道専門委員会

(1) 日 時 6月13日(火) 受付 8時30分 会議開始 9時00分

(2) 場 所 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (会議室)

1.4 連絡事項

(1) 練習場所及び時間の予定

6月13日(火)

ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (メインアリーナ) (9:30~14:00)
(サブアリーナ) (9:30~12:00)

6月14日(水)

ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (メインアリーナ) (8:00~ 9:00)
(サブアリーナ) (9:00~16:00)

6月15日(木)

ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (メインアリーナ) (8:00~ 9:00)
(サブアリーナ) (9:00~16:00)

6月16日(金)

ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (メインアリーナ) (8:00~ 9:00)
(サブアリーナ) (9:00~11:30)

(2) 開館時間

ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (8:00 予定)

(3) 大会の組み合わせ結果および試合結果につきましては『北海道高体連剣道専門部』のホームページ【URL:<http://www.kendo-hokkaido.hokkaido-c.ed.jp/>】をご覧ください。

令和5年 月 日

大会参加選手変更願

北海道高体連剣道専門部長 様

支部名 _____

学校名 _____

校長名 _____ 印

このことについて、下記のとおり変更したいのでご承認ください。

記

(抹消選手)

位 置	氏 名 (ふりがな)	段位	学年	生 年 月 日	理 由

(登録選手)

位 置	氏 名 (ふりがな)	段位	学年	生 年 月 日	理 由